

「幼子と共に」9月号

はじめに

長い夏休みが終わり、いよいよ2023年度の2学期を迎えました。この夏に、様々な経験を経て、また、一回り大きく成長した子どもたちの姿が見受けられましたことを、心から嬉しく感じています。

感染症の影響を受けて、この数年間、様々な行動が制限されました。本来ならはできたことが、自由にできなくなりました。それは、子どもたちに必要な経験の不足という大きな問題をももたらしたともいえます。

様々な制限から解かれた今、本来の保育の在り方を改めて見つめ直していくと共に、この期間に培われてきた経験を活かし、新しい形を生み出していくことにも目を向けていけたらと思います。何よりも、子どもたちが、幼稚園を通して、様々な経験をし、子どもたちの個性や感性を豊かに育んでいける2学期でありたいと思います。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

ホームページの更新が間近です！！

現在、今までのホームページから新しいものへと移行をしています。ホームページに掲載する動画の撮影に、ご協力いただきましたことを、心より感謝申し上げます。

現在、掲載される動画のチェックをしている段階ではありますが、動画を見た副園長が一言「この幼稚園は何もないね・・・」。

実は、この動画をチェックする前に、他の園の動画も視聴しました。他の園の動画には、「◎◎保育をしています！」「◎◎なことをしています！」といった、園の保育の特色が全面に出ていました。

ほかの園と比較をする必要はなく、どの園も、魅力的な動画ではありましたが、確かに言われるように、越谷幼稚園は、他の園にはない仕上がりとなっていました。

しかし、副園長は、続いて、こうも言いました。「子どもも先生も楽しそうに遊んでいるね」。そうなのです！これが、越谷幼稚園なのです。確かに、華やかなものは何もないのです！本気で遊んでいるのです。

しかし、これこそが、本来あるべき「幼児教育」なのです。幼児教育の父と呼ばれたフレーベルは、「砂場から人生のすべてを学んだ」と言いました。何もないところから、すべてのものが生まれるのです。いや、子どもたちは、そこに何もなくても、自分で、

遊びをつくり出し、その中からルールや社会性や生きる力を生み出すことができるのです。私たちにおいて大事なことは、子どもを大人のように育てることではなく、子どもを子どもとして受け止め、ありのままを愛していくことなのです。そこから、子どもたちは、この世界に生きることに喜びを感じながら、安心して、成長していくのです。

動画をみると、子どもたちが、本当に喜びをもって遊んでいる様子が映し出されています。そして、何よりも、先生一人ひとりも「よく遊んでいる」のです(笑)

それでよいのです。いや、それがいいのです。子どもと同じ世界観に先生方が飛び込み、子どもをありのまままで受け止めながら、同時に、その遊びの黒子（サポーター）に徹しているのです。この保育の在り方は、もしかすると、他の園とは違うと思われるかもしれませんが。しかし、この飾らない保育の在り方こそが、他の園にはない、越谷幼稚園でしか作り出せない、質の高い保育なのだと、自信を持っています。

このような本来のキリスト教保育の在り方を、もう一度、見つめ直しつつ、新しい日々を、子どもたちと共に過ごしてまいりたいと思います！！ 今学期も遊ぶぞー！

園長 須賀 工

栄養士 池田和美先生より

まず、自己紹介をさせていただきたいと思います。

今から30年以上前のこと、長男の入園をきっかけに幼稚園が大好きになり、その後、15年間職員室でのお仕事をさせて頂き、実に多くのことを学ばせていただきました。そして長女が社会人になったのを機に、子どもの頃よりずっと興味があった食の学びを深めるため退職し、高齢者施設や保育園などでの勤務の後に、こちらでの勤務が始まりました。

あふれる笑顔とキラキラと目を輝かせながら遊んでいる子どもたちと共に過ごせる幸せを深く感じながら過ごしています。子どもたちの健やかな成長を切に願いつつ、栄養士としてその具体的な方法や、また何か疑問点や問題点があればみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。「おいしいものをなくす」のではなく「好きなものを増やす」。「おいしいね！」と笑顔でいっしょに食べることを共有させていただきたいと願っています。ご意見やご質問などどうぞお気軽にお声かけをしていただけたらと思います。

いけだかずみ

またまた暑い日が続きますね。そうめんなど冷夏だけでなく、夏野菜の漬物や大活躍してくれるピザやBBQを多く含む豚肉やモロヘイヤなどと一緒に食べてね。